三鷹市立第三中学校だより　〈教育目標〉人を大切に　時間を大切に　物を大切に

若みどり

学校ホームページ　http：//www.mitaka-schools.jp/sanchu-jhs/

Ｎｏ．６
令和８年10月１日発行
三鷹の森学園三鷹市立第三中学校
校　長　齋　藤　将　之

「私たちが教育を通じて子どもたちに贈りたいもの」

校長　齋藤　将之

皆さんは、「三鷹市教育ビジョン 2027」をご存じでしょうか。

「三鷹市教育ビジョン 2027」は、三鷹市の教育が目指す姿を市民の皆様に分かりやすく示すとともに、今後４年間の教育施策の方向性を示したものです。令和７年３月に策定され、三鷹市の教育の指針として位置付けられています。今回は、その中から「教育の目的」として掲げられている「私たちが教育を通じて子どもたちに贈りたいもの」を紹介します。

第２章　三鷹の教育の方向性（ビジョン）

第１　教育の目的　私たちが教育を通じて子どもたちに贈りたいもの

自らの幸せな人生とより良い社会の創造
（個人と社会のウェルビーイング*の実現）

一人ひとりが自分ならではの幸せな人生を実現してほしい。
一人ひとりが大切にされ、幸せを感じ、
自分がかけがえのない大切な存在だと感じてほしい。
その上で、自分だけではなく、みんなが幸せになれるよう、
他者を尊重し、違いを認め合い、共に生きる人々と
より良い社会を創ってほしい。

予測困難といわれる時代だからこそ、
変化に振り回されるのではなく、
自分から、幸せな人生をつかみ取り、
みんなの望む未来を実現してほしい。
そんな願いを込めて、
そのための力を育む教育を目指します。

＊　ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、の短期的な幸福のみ ならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもので、また、個人のみなら ず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念とされています（参照：教育振興基本計画（令和５年６月１６日閣議決定））。

第三中学校では、この「三鷹市教育ビジョン 2027」を踏まえ、「個人と社会のウェルビーイングの実現」を目指して教育活動を推進しています。そして、そのために必要となる「生徒主体の力」の育成を学校経営の柱の一つに据えています。

生徒一人ひとりが自ら考え、仲間と協働しながら課題を解決し、自分や周囲の幸せ、更にはより良い社会の実現に向けて行動できる力を育んでいきたいと考えています。

保護者・地域の皆様におかれましても、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

「三鷹市教育ビジョン 2027」の全文はこちらより
➢三鷹市　｜三鷹市教育ビジョン 2027（令和６年度策定）

防災講演会

担当　２年副担

第２学年は、８月 27 日（木）に防災講演会、28 日（金）には防災訓練（防災教室）を実施しました。

講演会では、三鷹市防災課の方による講話を通して、災害時の心構えや地域における中学生の役割について考えを深めました。防災訓練では、ゲーム形式で避難所の運営や必要な配慮を考える「ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）」に取り組んだほか、校内の防災設備を実際に巡り、避難所としての学校の機能を具体的に学びました。

災害はいつ起こるかわかりません。今回の学びをもとに、地域社会の一員としての防災意識と行動力をさらに高めてほしいと思います。

ご指導・ご協力いただきました三鷹市防災課、ＮＰＯ法人「Ｍｉｔａｋａみんなの防災」、ならびに牟礼高山町会の皆様、誠にありがとうございました。





職業人の話を聞く会

担当　１Ｂ担任

先月９月 19 日、１年生を対象に「職業人の話を聞く会」を開催いたしました。

当日は、地域で活躍されているさまざまな分野の皆様［メディア・不動産・飲食・助産師・出版・デザイナー・社会福祉・弁護士・外資系・アパレル］を講師としてお招きしました。仕事の内容だけでなく、「なぜその仕事を選んだのか」「仕事のやりがいや苦労」「中学生のうちに身に付けておきたい力」など、ご自身の経験に基づいた貴重なお話をお聞きすることができました。

生徒たちは、プロの言葉に真剣な表情で耳を傾け、熱心にメモを取っていました。質疑応答の場面では、「働く上で一番大切にしていることは何ですか？」などの質問が飛び交い、自分の将来や働くことの意味について深く考える大変有意義な時間となりました。



修学旅行

担当　3A 担任

９月６日（日）から８日（火）までの二泊三日で第三学年の修学旅行を実施いたしました。１日目に奈良、２日目・３日目には京都を訪れ、古都の魅力に触れながら、日本の伝統文化について理解を深めることができました。また、３日間の班行動の中で各班が時間を意識しながら計画的に行動する姿も多く見られました。見学場所への移動や集合の場面でも、一人ひとりが責任をもって行動したことで、大きな遅れなく日程を進めることができました。修学旅行のスローガンである「友と奈良　最京だぜ　修楽旅行」のもと、仲間との絆を深めるとともに、多くの学びと貴重な思い出を得る充実した３日間となりました。



